

株式会社 P A L T E K

いのちを助ける非常電源を、安心設計、ローコストで



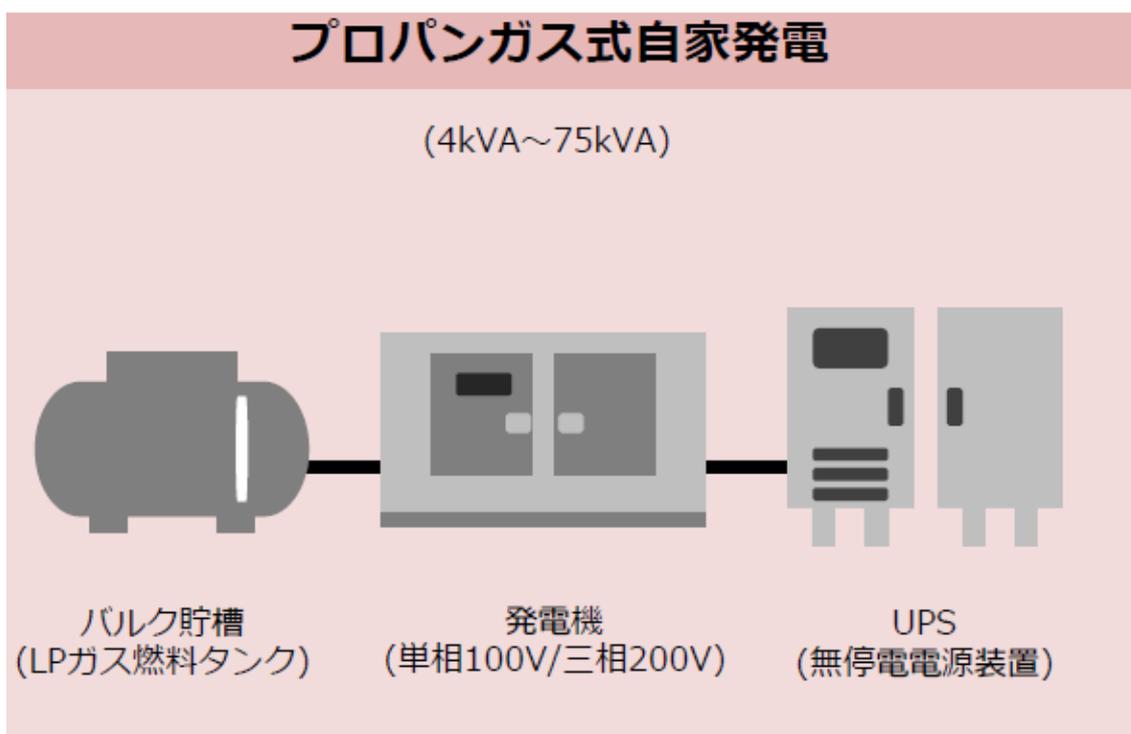
災害時の非常電源について、私たちは東日本大震災以降、真剣に考えるようになってきた。しかし、株式会社 P A L T E K の代表取締役会長、高橋忠仁氏は疑問を呈する。

「大病院などでは災害時における対策が進められてきましたが、身近な場所の設備についてはどうでしょうか。たとえば町のクリニックや中小規模の介護施設などでは、停電発生時の対策としてスプリンクラー専用の自家発電システム、または 8 時間程度の電力供給可能な自家発電などが設置されています。しかし東日本大震災発生時やその後の計画停電時においては、備蓄していた軽油などの燃料がなくなってしまい、自家発電を稼働できない事態が発生しました。たとえば人工透析患者は全国で 30 万人いると言われていますが、もしも災害による大規模停電が起きた場合、大勢の患者様が治療を受けられない事態に陥りかねないのです」

LP ガスの自家発電なら、いざという時も 72 時間しっかり電力供給が可能

少子高齢化時代の今、私たちは災害時におけるクリニックや介護施設などの電源設備についても、考えておかなければならない。そんな災害時に役立てようと開発されたのが、PALTEKの各種停電対策システムだ。同社では1982年の創業以来、半導体事業をはじめ、デザインサービス事業、スマートエネルギー事業など積極的に立ち上げてきた。そうした技術と経験を活かし地域に役立てようと、LPガスを活用した停電対策システムなどが開発された。

「非常用発電機として、これまでディーゼルエンジンが多く使われてきましたが、未使用期間が長くなれば、燃料の劣化や機械詰まりなどが生じやすいという欠点があります。しかしLPガスならその心配はありません。私たちが提供する発電機はLPガスを燃料に、災害時も電力を72時間（8kVAタイプで、プロパンガス50kgボンベ5本の場合）確保できます。



また病院電気設備の安全基準（JIS T 1022:2006）に対応し、院内の医療機器へ直接接続も可能となっている。停電時に瞬時に電気を供給する無瞬断の医用UPSも接続でき、長時間停電時のリチウムイオン蓄電池を補完するなど、医療現場の声を活かした設計になっている。

「こうしたシステムを備えることは、患者様の生命を守るためにも大事なことです」

開発に至るまで粘り強く研究、交渉を続けた高橋氏はその熱意を語る。

病院、介護施設から地域へと広がるエネルギーの地産地消を目指して

さらに新しい試みとして、地域に自然エネルギーを供給し、非常時には施設の自家発電に使われる介護施設の屋根貸し「防災サービス」も始まっている。屋根貸しによって太陽光発電を設置するようなサービスも地場の業者とともに展開している。

「生命を助ける、エネルギーの地産地消が始まっています。こうした取組みは次の世代の人たちにも安心を届けることでしょう」



会社概要

株式会社PALTEK

代表取締役会長：高橋 忠仁

本社：横浜市港北区新横浜 2-3-12 新横浜スクエアビル 6F[受付] ・ 11F

TEL：045-477-2000(代表) FAX：045-477-2010

設立：1982年10月

事業内容：半導体および関連製品販売事業、デザインサービス事業、スマート
エネルギー事業

URL：<http://www.paltek.co.jp/index.htm>